

# インテル株式会社と千葉市との 包括連携協定について

The Intel logo is displayed in white lowercase letters on a blue square background.

intel



# 1. 連携の意義

未来の千葉市のまちづくりに向けて、  
両者の資源・ノウハウをデジタルの力で有効活用



『みんなが輝く都市と自然が織りなす・千葉市』

【2040年を展望した重要な社会変化】

- ① 人口の変化
- ② 災害等リスクの増大
- ③ テクノロジーの進展
- ④ 持続可能な開発目標の達成



市民生活の質の向上及び  
持続可能なまちづくりを目的に、  
テクノロジーとデータを有効活用



『地球上のすべての人々の生活を豊かにする技術を創造』

- 私たちの生活に変革をもたらす製品／テクノロジー・イノベーションの普及促進
- 事業の特長と規模を生かし、パートナーとともにより良いビジネス、社会、地球の実現に貢献
- 業界全体としての社会的責任、持続可能性、ダイバーシティ & インクルージョンの推進

# 1. 連携の意義

## これまでの千葉市におけるインテルとの取り組み例

### 千葉市動物公園での混雑状況の可視化・来園者予測等の実証

千葉市動物公園でサービス向上や運営効率化などを目的に、入退場ゲートなどに設けたカメラの映像から来園者数や駐車場を分析する実証実験を実施。個人情報保護の観点から映像をエッジノード上で処理する「エッジ AI」にて構成。



### 高齢者eスポーツ体験 / VALORANT世界大会 開催の支援

いきいきプラザで高齢者のeスポーツ体験を実施、施設対抗のオンライン大会も開催。また、2023年6月には幕張メッセでVALORANT世界大会が開催。自治体とVALORANTの世界大会の連携は日本初。



### 千葉市の4つの地域資源のプロモーションの支援

千葉市の4つの地域資源のプロモーションを東京デザインテクノロジーセンター専門学校と一緒に企画実施。地域資源紹介映像や小学生向けのゲームが制作され、デジフェス2023でも展示。



### 職員向けのデジタル人材育成研修の実施

2021年より職員向け研修としてデータ分析研修やAI研修を開催しすでに200名以上が受講。またオンラインのAI研修プログラムは3,000人以上が受講済み。グループ討議で課題解決を議論。



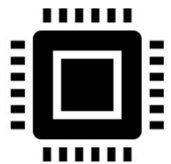
## 2. 連携事項

- (1) テクノロジーの活用と実装に関する研究・実証
- (2) デジタル人材育成の推進
- (3) 多様な主体によるまちづくりの推進
- (4) その他、両者が合意する事項に関すること



### 3.連携事項 (1) テクノロジーの活用と実装に関する研究・実証

インテルが有するテクノロジーを活用し、千葉市における現場視点での課題に対して、産官学連携での解決に取り組む



#### テクノロジー

- ✓ インテルが有するプロセッサ等の製品をもととした、人工知能(AI)やモノのインターネット(IoT)、5G等の次世代ネットワーク、セキュリティなどのテクノロジーをまちづくりに活用



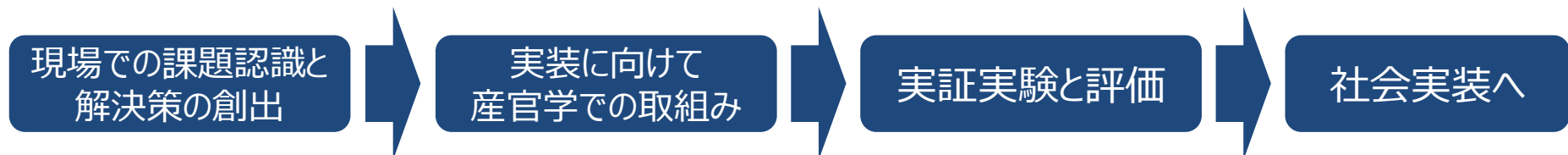
#### 現場視点

- ✓ 千葉市のデジタル化やまちづくりでの諸問題に対して、現場の視点から中立的な立場で課題認識や解決策の創出を行い、実証から社会実装までを目指す



#### 産官学連携

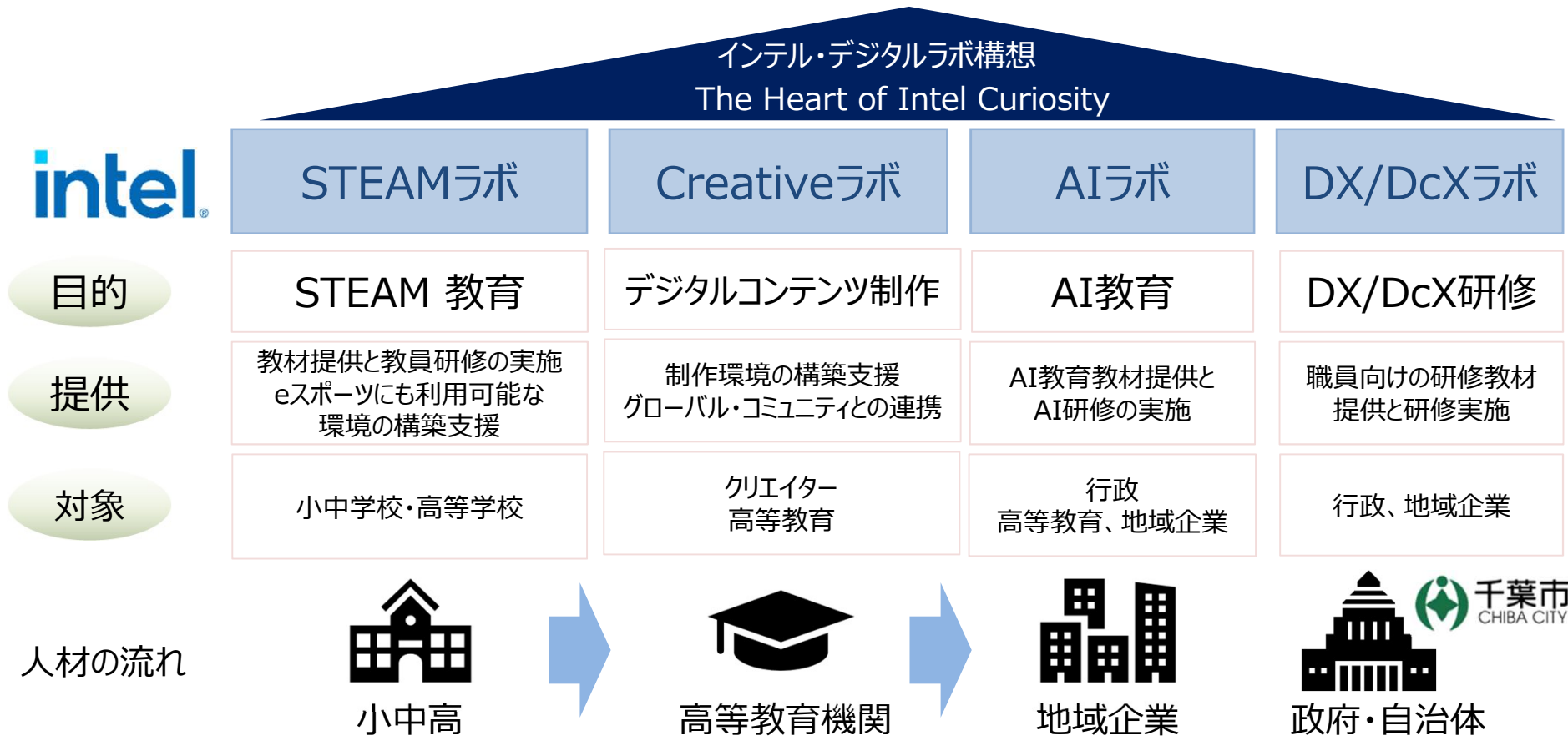
- ✓ インテルが持つ多くのパートナーや教育機関との連携から、プロジェクトに応じた最適な体制づくりを行い、共創による解決を加速



### 3. 連携事項（2）デジタル人材の育成

## インテル・デジタルラボ構想

デジタルラボ = 学びの場。千葉市に携わる人々の好奇心を掻き立てながら、課題解決に必要なテクノロジーへの理解を高める



\*DcX: Data-centric Transformation (データを中心としたDX) の略

### 3. 連携事項 (3) 多様な主体によるまちづくりの推進

## インテルが支援する千葉市のまちづくりイメージ

デジタルラボ = 学びの場で人々のテクノロジーへの理解を高め、パートナー企業と共に高い技術力でのデジタル化とデータ活用により、市民生活の質の向上を支援する

## ユースケース

### 教育

### 地域コミュニティ



## データ連携



### 市民サービス

## サイバー セキュリティ



### 地域活性化

## デジタル人材育成

# 4. 今後、インテルの支援で進める千葉市のプロジェクト例

## 千葉市版インテル・デジタルラボ構想を活用した人材育成

千葉市民のデジタル対応力（デジタルレディネス）を高めるため、産官学が連携し、デジタル人材育成を行います。

intel	STEAMラボ	Creativeラボ	AIラボ	DX/DcXラボ
目的	STEAM 教育	デジタルコンテンツ制作	AI教育	DX/DcX研修
提供	教材提供と教員研修の実施 eスポーツにも利用可能な環境の構築支援	制作環境の構築支援 グローバル・コミュニティとの連携	AI教育教材提供とAI研修の実施	社員・職員向けの研修教材提供と研修実施
主な対象	・市内の小中学校・高等学校の児童・生徒・教員	・市内のクリエイター ・市内の専門学校・大学などの学生	・すべての市民 ・市内の団体・企業の職員・社員 ・行政職員	・市内の団体・企業の職員・社員 ・行政職員
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市教育委員会とあり方や実施体制などを構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市産業振興財団との連携</li> <li>・市民、団体、企業向けの研修等を実施予定</li> <li>・指導者養成のための市内団体・企業等への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内大学等教育機関との連携</li> <li>・東京情報大学（ちば産学官連携プラットフォーム）との連携               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内において設置予定の共創ラボとの連携</li> <li>・学生・市民等がデジタル技術に触れる場の提供</li> <li>・学生、市民、団体、企業向けの講座・研修等を実施予定</li> <li>・指導者養成のための講座・研修等を実施予定</li> </ul> </li> </ul>	



# 4. 今後、インテルの支援で進める千葉市のプロジェクト例

## eスポーツを通じた地域活性化に向けた支援

千葉市は、あらゆる世代の市民に、eスポーツを知り楽しんでもらうなどeスポーツの魅力を発信し、普及・啓発に取り組みます。

### ■ eスポーツ大会誘致への支援

- ・世界大会等の積極的な誘致への支援
- ・国内大会等の開催支援

### ■ 各分野におけるeスポーツ活用への支援

- ・高齢者向け フレイル予防eスポーツ体験
- ・若者向け 競技eスポーツ体験

### ■ 地域コミュニティづくりの支援

- ・市民のeスポーツの拠点づくりの支援
- ・東京情報大学共創ラボとの連携
- ・eスポーツを通じた世代間・地域間交流



## 千葉開府900年に向けた デジタルを活用したプロモーション支援

千葉市の4つの地域資源のプロモーションを引き続き連携して行い、千葉開府900年を盛り上げます。

- ・学生・市民によるプロモーションコンテンツの制作支援



## 市民のデジタル活用への理解を深める イベント開催支援

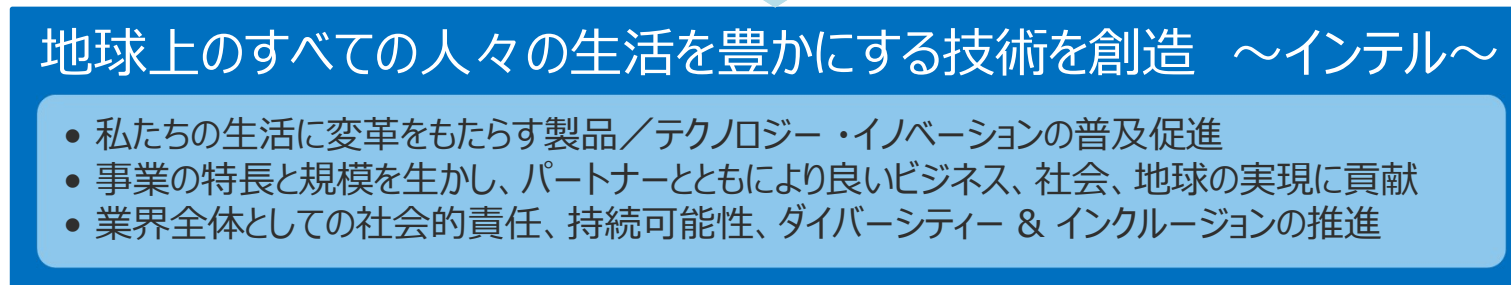
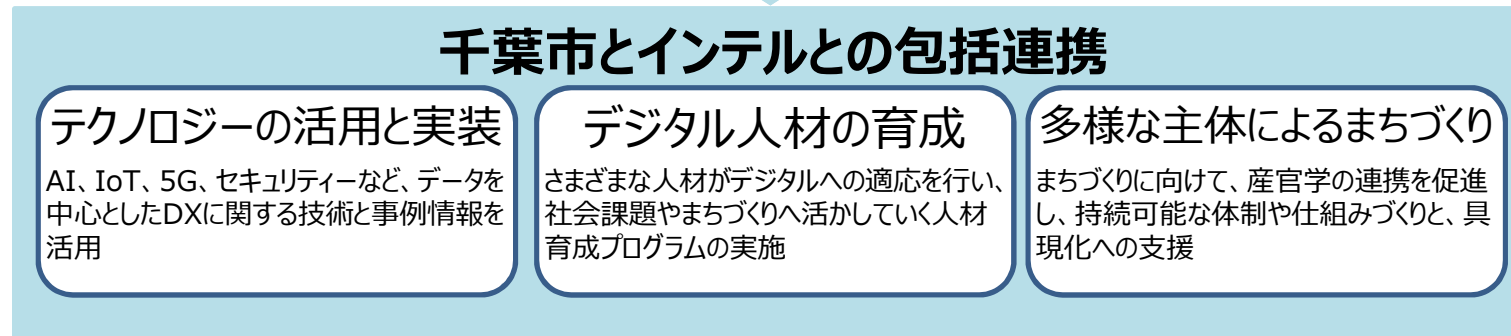
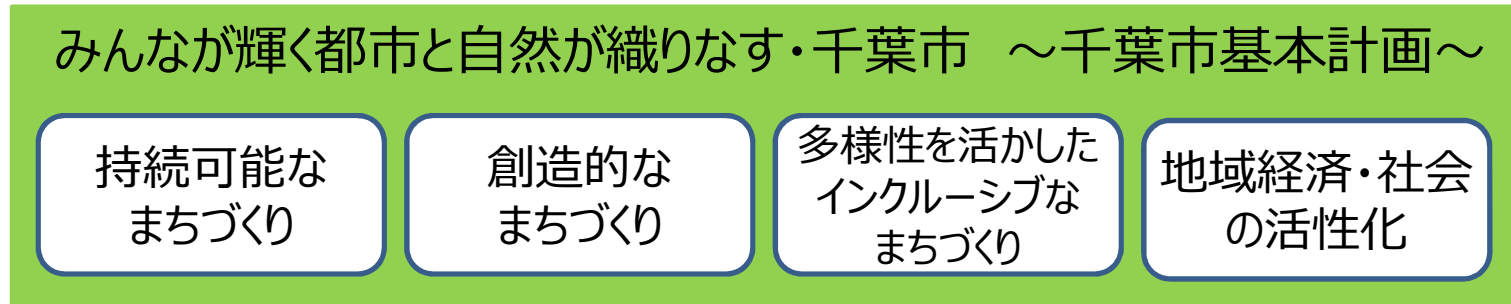
デジタル月間に合わせ実施する「ちばデジフェス」などのデジタル技術に関連するイベントを連携して開催します。

- ・パートナー企業の紹介
- ・デジタルコンテンツの提供
- ・機材の貸出 など



# 5. 千葉市・インテル 包括連携イメージ

将来を見据えた、デジタルを活用した「人とまち」づくりの実現へ



国内での成果発信と他地域への展開